

令和7年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 74

千葉県立成田国際高等学校 全日制の課程 普通科・国際科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名約10分 (日本語で行うが、国際科は英語によるものを一部加える。)
(3) 小論文	字数：601字以上800字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年で20日以上、又は3か年で40日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ その他の記載事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔30点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各15点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 目的意識	志望動機が明確であり、入学後に意欲的に学校生活に取り組みたいと考えている。
イ 発言内容・理解力	質問に対して具体例を用いながら、的確に答えている。
ウ 表現力・言葉遣い・態度・服装・マナー	表現力豊かに、正しい言葉遣い、適切な態度、服装、マナーで話している。

(3) 各高等学校において別に定める検査（小論文）〔30点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各15点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 内容	テーマに即した内容になっている。
イ 構成	自分の考えを論理的に構成・表現し、首尾一貫している。
ウ 表現・表記	適切な表現・表記となっている。 * 語彙・表現、原稿用紙の使い方が適切であり、かつ字数に過不足がない。

### 3 選抜方法

#### (1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「小論文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点	面接の得点	小論文の得点	総得点
135点	30点	30点	195点

#### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。